

## fundraising manual for ec 08

「彼は惜しみなく分け与え、貧しい人に施した。彼の慈しみは永遠に続く」と書いてあるとおりです。種を蒔く人に種を与え、パンを糧としてお与えになる方は、あなたがたに種を与えて、それを増やし、あなたがたの慈しみが結ぶ実を成長させてくださいます。あなたがたはすべてのことに富む者とされて惜しまず施すようになり、その施しは、わたしたちを通じて神に対する感謝の念を引き出します。なぜなら、この奉仕の働きは、聖なる者たちの不足を補うばかりでなく、神に対する多くの感謝を通してますます盛んになるからです。

第2コリント9:8~13

**equipper conference 08 (ec 08)** への参加を呼びかけている、各地域のリーダー、コンタクトの皆様、

主の御名を心から賛美致します。

毎年、ec への参加を呼びかける上で、経済的な問題が障害となります。開催地から遠く離れた参加者にとっては、交通費・参加費合わせるととても大きな金額となり、そのため、「遠いからね～、ちょっと行けないね～」という声を恐れ、誘うのを躊躇してしまうこともあると思います。しかし、主は恵み深い方です。そして、**前もって計画的に資金調達に動けば、個人負担をできるだけ押さえつつ、多くの方の参加を可能にすることは、決して困難ではありません。**このマニュアルは、一人でも多くの参加者が起こされるよう、祈って行動する、各地域のリーダーたちのために用意されています。

神様は私たちの必要をご存知であり、それを満たして下さるお方です。励ましを必要としているクリスチャン、また興味を持っている求道者の方が、ecに参加することが主の御心であれば、必ず主は参加を実現させていただきます。主を信頼し、行動に出ましょう。

しかしながら、ファンドレイズの経験がない場合、「果して誰が献金してくれるのだろうか」と不安になったり、また奨学金を受けることについて申し訳なく思ったりすることが、自然な反応であることも事実です。そこで、以下の点に、留意してください。**ファンドレイズは、サポートを求める側（私たち）と捧げてくださる方々（日本人宣教に重荷のある兄弟姉妹たち）の両方を通した主の業です。両方に、神様からの恵みと愛が溢れます。**ecは日本人だけの働きではありません。重荷を与えられたキリストの体の各部分がそれぞれの機能を果たすとき、主がecを通し大きく働かれ、主の栄光が現れるのです。

ecに向けたファンドレイズに取り組む上で、助けになればと思い、このマニュアルを作成しました。主が既に備えてくださっている支援者の方々への祝福を心から祈り、また与えられたサポートを感謝して受け、そして、必要とする者達が満たされ、主が望まれている方たちが修養会へ参加できるように、祈りましょう。

### Table of Contents

1. ファンドレイズの目的
2. 具体的なファンドレイズの方法（教会・集会での証、ディナー、ガレッジセール、etc.）
3. 奨学金の取り扱いについて（ec登録に関わる事務の簡略化・税控除の扱いなど）
4. その後（ec後の感謝報告など）

## 1. ファンドレイズの目的

### 経済的な理由から修養会参加を断念してしまう人がないように

1人でも多くの兄弟姉妹が、修養会の恵みの座に集えるよう、主が備えて下さる事を祈り求めましょう。

### 各地域の必要のために

本年は、学生\$325、社会人\$370、夫婦\$300 (11月10日迄) という参加費が設定されています (第一次締切以降は学生は\$20増し、その他は\$25増し)。参加者一人一人の状況は異なります。遠隔地は交通費が高くなります。従って、それぞれの地域が自主的に資金を募ることが、それぞれの必要に最も柔軟且つ早急に対応することにつながります。「自主的」と書きましたが、ファンドレイズのノウハウや、PR資料などを提供したり、祈り励ましたり、実行委員会もできるだけのお手伝いをさせていただきます。

### 修養会全体の必要のために

尚、まわりに助けてくれるクリスチャンがいないため、十分なファンドレイズをできない地域の方もいらっしゃいます (毎年、日本人が、クリスチャンが少ない地域から、小人数で参加される方々がいらっしゃいます)。また、修養会直前に、経済的必要が満たされることを条件に、信仰をもって参加を決定するケースもあります (たとえどんな方法であっても主が、主権の故、参加者を ec に送ってくださるなら、とても感謝なことです)。

ですから、**地域毎に調達する資金のうち、いくらかを ec 全体の奨学基金アカウントへ捧げて頂ければ**、本当に感謝です。過去にも異なる地域からの奨学金献金により、参加が可能になり、二重に主の恵みを感じ励ましを受けられた方がいらっしゃいました。

- \* 各地域毎、ファンドレイズのために祈り備える。(まず集まって祈りましょう。そして計画しましょう)
- \* 各地域に日本人・留学生宣教に重荷を持った方がいらっしゃいます。(その方たちにどうアプローチしていくか、主に知恵を頂き、作戦を練りましょう)

## 2. 具体的なファンドレイズの方法として

### a. 教会、個人への呼びかけ

具体的な例

- ① **サポートレイズレター**の作成
  - 地域の教会用
  - 個人用

北米の日系教会・神学校・宣教団体には ec 本部より、フライヤーと献金のお願いを発送します。あなたの地域の教会・団体に関しては、お問い合わせください(レターを送ってほしい教会や団体があったら教えてください)。

- ② **教会の Mission Committee** (どの教会にもたいがいあります。教会の予算から海外宣教にどれだけ献金するか、どの宣教師をサポートするか、教会から宣教チームを送り出すこと、などを決める委員会のことです。まずここにコンタクトできればよいと思います) や、**礼拝、祈禱会、サンデースクール等** (当然、礼拝の方が出席者が多いですが、祈禱会やサンデースクールの方が時間をもらえます。サンデースクールによっては、毎週のテーマやゲストを探していたりすることもありますから、早めにコンタクトできればよいと思います。主が道を開いてくださることを祈ります!) で証させて頂くという方法があります。

日系教会・その他の教会 (日系以外では、海外宣教に関心が高かったり留学生伝道に熱心な教会が興味を持って聞いてくれます。留学生宣教に関わっている宣教師の方に知り合いがいれば、その方に教会を紹介してもらうといいと思います) の礼拝・日曜学校・祈禱会にコンタクトし、ec に関するプレゼンを行い、お祈りと献金を募ります。

過去の ec の写真、ビデオ、パワーポイント (お問い合わせください)、過去の参加者の証 (救いの証、ec で励ましを受けた証など)、スキット、日本語の賛美などが、プレゼンの内容として考えられます。

北米の兄弟姉妹 (日本人でない方) に、主が日本を愛し、北米の日本人の間で働かれ、整えて日本の地に送り返して下さっていることを証できれば、素晴らしいと思います。彼らへの励ましにもなると思います。留学生を愛し、仕えて下さっている兄弟姉妹に感謝する機会でもあります。

- b. **日本人クリスチャンの集会 (JCFN 地域集会その他)** で修養会奨学金のために献金を募る。同時に ec のために祈るときを持つことができれば素晴らしいです。
- c. **ガレージセール** などにより、自分達でレイズする。

具体的な例

① ガレージセール

- 1) 場所の確保
- 2) 品物収集 → どこに呼びかけるか?
- 3) 新聞等へ広告を出す。
- 4) 実際の奉仕の分担
- 5) 開催日 → 土曜日、金曜日  
コツ。朝なら (早い方がよい) 土曜日、午後なら金曜日の方が人が入ります。

② フードセール (食べ物を売る)

- 日本食等の food delivery をする。
- ・ 日持ちするもの
  - ・ 手荒に扱っても大丈夫なもの等がよい。
- Ex. デンバーでは、かつて肉まん、あんまん、餃子などのデリバリーを行いました。

ファンドレイズ用の食べ物なども売っています。(Krispy Kream のドーナッツなど) 経験者に相談してみてください。

③ サポートレイズディナーを開く (上記の教会での証に食事をつけるような感じ)

日本食、修養会の証等のプログラムを立て、サポート可能な方々を招待する。

その他様々な方法があります。みんなで相談して素敵なアイデアが出てくるといいですね。

### 3. 集められた奨学金の取り扱いについて

1) equipper conference 本部を通す場合

献金の領収書など TAX deductible (税控除) にする為の書類が必要な場合は、equipper conference を通す事が出来ます。

<方法>

- ① 献金する方に、equipper conference 宛に小切手(check)を切ってもらって下さい。  
もしくはその献金を一度誰かの口座へ入金し、その人が ec 宛に check を切るようにして下さい。

<Check 送付先>

equipper conference  
c/o JCFN 3590 Elm Ave., Suite H, Long Beach CA 90807

② JCFN から献金者へ領収書が届きます。

③ 地域でファンドレイズをする場合「奨学金内訳表」を ec へ提出して下さい。

\* 表 別紙参照

2) equipper conference を通さない場合

- ・ 集められた献金を、地域ごとに管理して下さい。
- ・ 修養会当日までに、地域ごとに奨学金の割振りを済ませ、現地では**決められた参加費**をお支払い下さい。

<応用編>

1 枚の check に関し、複数の領収書が必要な場合、或いは check の金額の一部だけに関し、領収書が必要な場合。

ec 宛に check を切り、送る際、その内訳 (各領収書の金額、宛先に応じて) を明記してください。当日の登録時の混乱を避けるためにも、早めにこの情報を送ってください(12/10迄)。

連絡先 : ec 本部 562.427.1783

ご存知の通り、11 月 10 日を過ぎると、参加費は割増になりますし、航空券の価格も当然上昇します。できるだけ早く、計画を立て実行に移すことが重要です。

#### 4. 感謝の報告

ぜひ、修養会后、サポートして下さった方々へ、修養会で得た恵みと感謝の報告をしましょう。

訪ねた教会・集会で、謝意を述べ、励ましを受けた参加者の証をシェアすることができれば、次の年にもつながります。祈って楽しみにしてくださっている兄弟姉妹がいることを覚えてください。サポートして下さるネットワークを主が建てあげてくださることを祈っています。個人で献金して下さった方にも報告をしてください。

同時に、教会などからサポートを受け修養会に参加する人たちの言動を、教会の方々もそれぞれ見えています(特に日系の教会)。奨学金がほしいと言ってくる参加者に対し、「なぜ奨学金を受けられるのか」ということをきちんと説明しましょう。「本当にお金がなくて、飛行機で年末旅行なんてとんでもない」という人もいれば、「遊ぶお金はあるけど、修養会は奨学金をもらっていいや」という人もいるかもしれません。捧げられるのは、貴い献金です。受け取る側の参加者(特に学生)の意識をきちんとしないと、次から献金が頂けなくなることもあります。参加者一人一人の心が備えられるよう、私たちもお祈りしています。

捧げて下さる方々への祝福を心から祈り、また与えられたサポートを感謝して受け、必要とする者達が満たされ、一人でも多く修養会への参加が可能となるように、祈りましょう。

いつでもご相談にのります。一緒に祈って応援します。ご連絡ください。

中村千尋

本マニュアルは、ec 02 用に尾上、森作で製作したものを 08 年用に中村がアップデートしました。

equipper conference  
562.427.1783  
equipper@equipper.org  
www.equipper.org